

図書館ニュース



認証評価と教養教育について

学長 早坂 三郎

やっとのことで新型コロナウイルス感染症の渦中から抜け出し、対面での従来通りの会話や人間関係が築けるところとなってきました。尤も、街なかや電車、そして人が大勢集まる場所にあっては、これからもマスクの利用は多いことと推察されます。殊に、病院や施設などでは欠かせないアイテムとなってしまいました。コロナのみならずインフルエンザやオリンピックの歳には流行してきたマイコプラズマ感染等は静まりそうもないのと同じように地球温暖化がもたらす異常気象の結果、春と秋の日数の少ない熱帯化と真逆の厳寒が、更には11月でも一拳に4つも発生する台風や線状降水帯の頻発と水害災害がもたらされています。また、衆議院議員総選挙及びアメリカ大統領選挙等による政局の変化並びにロシア・ウクライナやイスラエル・パレスチナ紛争とこれらの拡大傾向は、生命の尊厳と安全・平和を奪うものであり、併せて温暖化を促進させ地球を破壊することに他なりません。

扱、加えて今日の社会の激変の根源にはAIの革新的展開があります。それは40万年～25万年前に現れたホモサピエンス以降の幾度もの危機と創造による変化を超えるであろうことは推測に難くないことです。そのかつて経験したことのない社会で活動するためのこれからの教育の進展を図るためわが国は、平成16(2004)年度に導入した高等教育における認証評価制度を実施しています。文部科学省の認証を受けた評価機関が大学・短期大学等の教育研究活動等の状況について、各評価機関が定める評価基準に従って受審することを法律で義務付けています。この結果、教育の内部質保証に取り組む高等教育機関としての体制と機能の向上、何より学生指導において改善が多く分野にわたって進められるところとなりました。本学は令和5(2023)年度に一般財団法人大学・短期大学基準協会による認証評価を受審しました。今回の受審は内部質保証の取り組みを中

心としているので、このため特に学習成果の可視化が可能な教務システムの導入と活用等について注力し、自己点検・評価報告書での紙面調査及び訪問調査に基づいて、令和6(2024)年3月8日付で同基準協会より「適格」と認定されました。

今回の機関別評価結果では、8つの事項について「特に優れた試みと評価できる事項」との評価を頂きました。まずは、全体的には全教職員が内部質保証に取り組んでいるとの基本のもとに、「建学の精神」の理解と実践を目的に「特別演習」を設け、そして初年次での「スタディ・スキルズ」がポイントであり、次には自らの学習成果である12項目の能力をレーダーチャートで確認できる教務システムを導入していることが挙げられました。他にも「認定絵本土」養成講座の開設や特色ある教育資源・設備などを機能させていること等の点で高い評価を得ました。早速にこれらの成果を令和6年度からの教育課程の改編に活かすべく取り組み、実施して行くと共に、ICT教育の施設・環境面を含めた教育活動の充実と展開に反映させる計画を整え、今後も教育・研究のさらなる充実と展開を目指してまいります。

そこで、これらの実践のため不可欠な内容と考えているのが教養教育であり、本学ではこの分野の特別演習を中心に、人権教育の研究、キャリアデザイン、IT技術Ⅰ及びⅡ、グローバルスタディⅠを中心に編成しています。この世界的紛争と経済・産業競争の中でも互いに「有難う」を交わし合える共生社会のための利他的なコミュニケーションと人間関係の構築と展開により、混迷を深める社会での人間の「社会化」による幸せづくりに大いに貢献するためには教養の積み重ねが大切であり、やはりこれからも図書館等での情報入力、遠いようですが必要な近道であると考えます。

皆さん是非とも一層読書に励んでください。

図書館長コラム

本年度、図書館長の任を託されました堀田浩之です。小学校の時は地域の図書館へ通い、中学 1 年生で図書委員となりました。高校時代は図書館は本好きの友人たちとの交流の場になり、同人誌活動を始めました。社会人になってからは再度地域の図書館に通い、この度図書館長に就任し、図書館は私の生活・人生とは切っても切れない存在になっています。

皆さんにとって、図書館はどのような存在でしょうか。短大の図書館に一度も足を踏み入れたことの無い方はおられないと思いますが、定期試験前とか実習前とかの限られた期間にしか来館されていない方も多いのではないのでしょうか。

ご存知の通り（紙の）本離れは恐ろしい速度で進んでいます。それに伴い、街から駅前商店街から本屋さん撤退しているのも現状です。

確かにスマートフォン、SNS 世代の皆さんにとって、書籍もニュースも、コミックも紙という媒体でなくても電子化された情報で困らないのかもしれませんが。

しかし、紙の本は「知の集積」であり「繰り返し見ることのできる知の集大成」と言える存在ではないか、私は信じています。そこには、1冊の本が出来るまでの手間暇、労力、関わった人々の思い等がギュッと詰まっているのです。そんな本に出会える場のひとつが、図書館ではないのでしょうか。

教授 堀田 浩之（図書館長）

短大の図書館には、実にたくさんのジャンルの本が所蔵されています。幼児教育・保育や医療事務、介護の専門書や雑誌、様々な分野の辞書や辞典、画集や図録、文庫本、漫画だけでなく紙芝居や CD、DVD などなど実に多種多様です。

そして、忘れてはならないのが絵本や児童書たち。認定絵本土の講座や各授業、保育所や施設、幼稚園での実習に向けてと大活躍、新刊書もたくさん入って皆さん（幼児教育保育学科、生活環境学科を問わず）が読んでくれるのを待っています。

本探しの旅に、癒しに、自主勉強に、検索にどうぞぜひ、図書館を訪れてください。きっと新たな発見や出会いがあると思います。

さて、図書館は今は静謐（せいひつ）を求められる場所になっていますが、大昔（2000年以上前）の図書館は非常にやかましい場所であったようです。なぜでしょうか。それは、当時の人類は皆さんのように黙読が出来なかったからだと思います。まずは音声による言葉を獲得し、後にコミュニケーション手段としての文字を発明した人類。だから、いちいち声に出して文字を読まないといけなかったようです。

時代とともに、図書館の形も役割も変化しますが、人類にとってなくてはならない場所であることは不変であると言えるのではないのでしょうか。

読書感想文・課題図書より

この目録は、I 回生対象の令和 6 年度読書感想文・課題図書です。II 回生にも読んでもらいたい本が推薦されていますのでご紹介します。

書名	編著者名	発行所	分類番号
100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集	福井県立図書館 編著	講談社	015.2
えほんのせかい こどものせかい	松岡 享子	文藝春秋	019.53
暇と退屈の倫理学	國分 功一郎	新潮社	113
思考の整理学	外山 滋比古	筑摩書房	141.5
「わかる」とはどういうことか	山鳥 重	筑摩書房	141.51
運命を拓く 天風瞑想録	中村 天風	講談社	159
君たちはどう生きるか	吉野 源三郎	岩波書店	159
置かれた場所で咲きなさい	渡辺 和子	幻冬舎	198.24
面倒だから、しよう	渡辺 和子	幻冬舎	198.24
行動経済学	阿部 誠 監修	新星出版社	331
風になってください 視覚障がい者からのメッセージ1	松永 信也	法蔵館	369.27
風になってください II 視覚障がい者からのメッセージ2	松永 信也	法蔵館	369.27
こんな夜更けにバナナかよ 筋ジス・鹿野晴明とボランティアたち	渡辺 一史	文藝春秋	369.27
子どもの文化人類学	原 ひろ子	晶文社 筑摩書房	379.3
人生で大事なことはみんなゴリラから教わった	山極 寿一	家の光協会	489.97

書名	編著者名	発行所	分類番号
アライバル	ショーン・タン	河出書房新社	726.5
ぼくを探しに	シェル・シルヴァスタイン	講談社	726.5
THE MISSING PIECE	Shel Silverstein	HarperCollins	726.5
ビッグ・オーとの出会い ぼくを探しに 続	シェル・シルヴァスタイン	講談社	726.5
へいわとせんそう	たにかわ しゅんたろう	ブロンズ新社	726.5
生きるぼくら	原田 マハ	徳間書店	913.6
お探し物は図書室まで	青山 美智子	ポプラ社	913.6
神様のカルテ1	夏川 草介	小学館	913.6
この夏の星を見る	辻村 深月	角川書店	913.6
最高のアフタヌーンティーの作り方	古内 一絵	中央公論新社	913.6
ツバキ文具店	小川 糸	幻冬舎	913.6
博士の愛した数式	小川 洋子	新潮社	913.6
ライオンのおやつ	小川 糸	ポプラ社	913.6
1リットルの涙 難病と闘い続ける少女亜也の日記	木藤 亜也	幻冬舎 等	916
カモメに飛ぶことを教えた猫	ルイス・セプルベダ	白水社	963

「図書館の思い出」

准教授 森井 裕史

小学生のころには、よく図書館に通いました。今は夙川のほとりにある西宮市立図書館は、私が小学生の頃西宮市役所のあたりにあって、甲子園口駅の近くに住んでいた私は、友人と一緒にバスに乗って図書館に行っていました。今なら自転車でいきますが、まだ小学生のころに自転車でそこまで行くことは許されていませんでした。

図書館では私は歴史に関するものを借りて読むことが多く、特に「偉人伝」と称されるものは好きでした。今なら様々な研究が進んで、それは歴史としての裏付けがないとか、場合によっては正しくないことが明らかになったようなこともあったとは思いますが、当時は一生懸命に読みました。西郷隆盛や戦国武将の伝記、さらに日清・日露戦争、特に日本海海戦の話などは心をわくわくさせて、何度も借りなおして読んだ記憶があります。東郷平八郎などの名前とともに「皇国の興廃この一戦に在り、各員一層奮励努力せよ」などという言葉も、意味も分からないまま覚えていました。今となっては、懐かしい思い出です。少し前なら立派な軍国少年だったかもしれません。

ただ、日本の「偉人」の伝記を好んでよく読みましたが、高校では日本史が得意であったということはありません。その後日本史を教えるようになるとは思いませんでした。

図書館に行くときに、いつも一緒だった友人のご両親はどちらも医者で、彼と彼の弟は家に帰ってもお家には誰もいないことが多く、そんなときに図書館に行くことは大きな楽しみだったのかもしれませんが。

その友人はご両親の影響か、理科に関するものを好んで読んでいたと思います。特に動物や昆虫に関する本が好きだったようです。彼はのちに私立中学校・高等学校へ入り、東京大学理科3類から医学部に進みました。今はアルツハイマーの新薬の開発で忙しい日々を送っているようです。時々NHKなど、テレビに出ているのを見ることもありますが、すっかり有名で立派になった彼を見ても、子どものころと一緒に図書館に行ったり、遊んだ記憶がよみがえり、懐かしい思いに浸ります。元気に頑張っているなあ、と思うと私まで元気になるように思います。時間ができたら、ぜひ一度会いたいと思っています。

「図書室や図書館、絵本の部屋」

准教授 尾崎 綾子

転勤が多い職業だった父について引っ越した私は3つの小学校に通いました。もっと転勤はありましたが、旅行好きの母がついて行きたい先を選んでいたので、行かないところもありました。どの小学校にもいい思い出があり、中でも北海道は緑が多く、おおらかな人が周りに多かったため、楽しかったと印象に残っています。ただ、どの学校でも図書室が大好きでした。私にとっては落ち着く場所であると同時に、どの本にも楽しい世界が詰まっているような気がして魅力的でした。たくさん本が並んでいると、題名だけではなかなか選べず、ちょっと読んでみて、この世界には入っていけそうと思うと読み始めていました。

低学年の頃の絵本に始まり、中学年になると『赤毛のアン』や『やかまし村の子どもたち』など海外の少年少女文学全集を読み始めました。海外は行ったことはないけれど、小さな教会のような学校に通う登場人物を身近に、自分のことのように感じ、憧れていました。

学校を卒業してからは、図書館で『指輪物語』や『ゲド戦記』など借りるようになりました。主人公に困難が降りかかる場面では、なかなか先に読み進めないこともあります。読み終わると主人公と一緒に命からがらの冒険をしたかのような気分にもなります。作者はどうしてこんなに奇想天外なストーリーを思いつづのだろうといつも思います。

就職した幼稚園には、どの園にも図書室のような

「えほんのへや」があり、子どもたちが毎週末借りていきます。子どもによって選ぶ絵本は様々です。お姫様シリーズ、乗り物、恐竜…などと決まった好きな絵本がある子どももいれば、とにかく楽しい絵本が好きな子どももいます。クラスではやっている旬の絵本があるときもあります。

あるとき、「これ読んで」と『おまえうまそうだな』を差し出した子どもがいました。大人が読んでもちがなく、涙がこぼれそうになる絵本を選んだAちゃん。「この本が好きなの？」と聞くと、「うん」とうなずきました。クラスで友達と一緒に読み聞かせをしました。何人かは心配そうな表情で見っていました。4歳児にもこの絵本の温かさや思いは伝わるようで、しばらく、宮西達也さんの絵本のリクエストが続きました。子どもたちの心にもそれぞれお話の世界が広がっていくのでしょうか。図書室や絵本の部屋は、わくわくと夢が詰まった場所です。

(以下の4冊は短大図書館でも所蔵しています)

「赤毛のアン」
ルーシー・モット・モンゴメリ：著
新潮社：発行



「やかまし村の子どもたち」
アストリッド・リンツ・クレン：著
岩波書店：発行

「ゲド戦記」
アシュラ・K・ルニク・ウイン
岩波書店：発行



「おまえうまそうだな」
宮西 達也：作絵
ポプラ社：発行

読書感想文最優秀作

『へいわとせんそう』

(たにかわ しゅんたろう 文/ブロンズ新社)

幼児教育保育学科I回生 西本 美濤

私はこの本を読んで、「へいわ」と「せんそう」の違いを深く考えることができました。小学校・中学校・高校と戦争について多くのことを学び、原爆ドームを見に行く機会がありました。その時は、あまり深く考えず一瞬にして今までの生活が変わってしまうような環境の変化を知っただけでした。しかし今回読んだ本では、主に人間の表情や姿、行動の変化について描かれていたので新しく気付いたことが主に四つありました。

一つ目は、私たちが今、日常で使っている文房具やテレビ、時計、照明などは、「へいわ」だからこそ使うことができているのだと気付きました。この本を読む前は、おいしい食べ物を食べられていることが平和だと思っていました。しかし、それだけでなく、日常で当たり前に使っているものが、「せんそう」の時には、当たり前存在しないのだと思いました。

二つ目は、「せんそう」の時には、家族の姿や雰囲気も違い、子どもを守る母の姿、戦争に行く父の姿から、自分が犠牲になってしまうかもしれない状況でも、家族を第一に守るという覚悟が伝わりました。戦争がなければ、家族も楽しく幸せな日々を過ごすことができるが、戦争になってしまうと一瞬にして変わってしまう恐ろしいことだと感じました。

三つ目は、味方も敵も同じ人間で同じ生活があるということです。同じ朝が来て、夜が来る、同じ「時」を生きているということを経験しなければいけないと思いました。場所は遠く離れていても、みんな一緒に赤ちゃんが元気に育ってほしいという願望など同じ気持ちで、それぞれ家族や大切な人、友達がいることも同じだと思います。だからこそ、世界中に伝わり、知ることが大切だと気が付きました。

最後に、私がこの本を読んで一番感じたことは、当たり前の日常は突然当たり前ではなくなるということです。何も気にせず送っている日々が急に暗い日常になってしまう可能性があるということに気付くと、当たり前でできていることが当たり前ではないと前より強く思うことができました。そして、毎日を本当に大切に過ごそうと思いました。

また、戦争は今も起きているということを入れ、自分は関係ないではなく、同じ人間がそのような状況にいることを忘れてはいけないと感じました。しかし、この本の「せんそうのボク」のようにどこかつらそうな表情で怖い思いをしている人々がいなくなるために、差別をなくしたり、様々な人とコミュニケーションをとったりと、一人一人が平和に対する考えや意識をしていかないといけないと思います。そしていつか、戦争や差別のない、みんなが笑って過ごせる平和な世界になればいいなと私は強く思いました。



〔最優秀作品：評〕

・今回、選択した本を読み、平和な日常を改めて認識するとともに、今、世界のあちらこちらで起きている紛争に心を痛める心情を端的に述べる事ができています。

読書感想文優秀作

『君たちはどう生きるか』

(吉野 源三郎 著/岩波書店)

幼児教育保育学科I回生 前川 七海

今回、私が選んだ本は小説『君たちはどう生きるか』です。この小説は、漫画化もされて多くの人に読まれてきた名作です。私はこの作品の漫画を少し読んだことがあったのですが、小説は知らなかったのでこの機会に読んでみることにしました。この本の主人公は中学2年生のコペル君というあだ名の本田潤一君です。コペル君が日常生活で巻き起こる様々な問題を通して、叔父さんと共に生き方を考え、成長していく物語です。

私がこの本の中で印象に残ったのは、コペル君が友人たちとの約束を破ってしまう場面です。ある雪の日、コペル君の友人である北見君が上級生たちに喧嘩を売られてしまいます。

他の友人である浦川君や水谷君は北見君を助けようと上級生に立ち向かいますが、殴られてしまいます。その様子を見ていたコペル君は、「自分も助けに行かなきゃ」と思いつつも体が動かず、眺めているだけになってしまうのです。実はコペル君と3人の友人たちは以前、「上級生に喧嘩を売られたら全員で立ち向かいに行く」という約束をしていました。それなのに、殴られることを恐れて1人だけ動くことができなかったコペル君は後悔いっぱいになりました。「卑怯者」という声が何度も何度も心の中に響いていたのです。しかし、「過去のことは、もう何としても動かすことは出来ない。それよりか、現在のことを考えるんだ。」という叔父さんの言葉を聞いて、コペル君は友人に謝ることを決意します。この言葉は、私が最も心に残っていた言葉です。

私自身、言葉足らずで誤解を招いてしまい、友人との関係がぎくしゃくしてしまった経験があります。誤解を解くために話し合っただけで謝ろうと思っても、謝る勇気がなかなか出ず、一日中「あの時あんなことを言わなければよかった」と後悔することがありました。この叔父さんの言葉について改めて考えてみると、「過去のことにとらわれて後悔しても仕方がない、それよりも自分が今、しなければならぬことに目を向けて、すぐに実行に移すべきだ」という意味だと私は考えました。私もコペル君も自分のした過ちについてはばかり考えてしまいましたが、叔父さんの言う通り、過去よりも現在に目を向けることの方が重要だと実感しました。コペル君が叔父さんのこの言葉を聞いて行動できたように、私も今すべきことを考え、コペル君のようにたとえ過ちをしたとしてもそこから逃がらず、行動できるように努力しようと思いました。

最初にも述べましたが、この小説は叔父さんとの対話を通してコペル君は人生をどう歩んでいくべきか考え、成長していく話です。

叔父さんの教えやコペル君が気づいたことの中には、私にも深く心に残った言葉がたくさんありました。筆者は「世界は自分中心ではなくすべての人との繋がりでできている」ということを読者に伝えたかったのだと感じました。私も全ての人との関わりを大事にしなが、誰かの役に立つ存在になりたいです。



〔優秀作品：評〕

・とてもたくさん共感する面があったので、これからの人生の指標となる一冊となったのではないのでしょうか。行き詰ったときに再度開いてみてほしいかもしれません。
・コペル君の行動と叔父さんとの会話から人として生きることについて読み取り、前川さんなりに考え、どう生きていきたいかという方向が見えてきたことが伝わってきました。

新着図書・紹介目録

この目録は、令和6年に図書館で購入した図書約200冊のうち、各学科の先生方がぜひ皆さんに読んでほしいと推薦された図書の一覧です。分類番号の見方は、館内にあるパスファインダー「本を探すには」を参照してください。

書名	編著者名	発行所	分類番号	書名	編著者名	発行所	分類番号
生成A1で世界はこう変わる	今井 翔太	SBクリエイティブ	007.3	ぞうからかうぞ (ことばあそびの絵本)	石津 ちひろ 文 藤枝 リュウジ 絵	BL出版	726.5
ルビィのぼうけん・コンピュータの国のルビィ/Alphabet、学校へいく/インターネットたんけん隊	リッパ・リッパ 著 鳥井 雪 翻訳	翔泳社	007.6	だいこん なんのかお?	わび みよ	ひかりのくに	726.5
「よく見る人」と「よく聴く人」	広瀬 浩二郎	岩波書店	369.27	たんぼほのたねとんだ (みちかな生きものと出会う絵本)	すすき ゆりいか	福音館書店	726.5
気になる子のための支援カード	高橋 順子 他監修	ひかりのくに	376.1	でこちゃん	つちだ のぶこ	PHP研究所	726.5
子どもとかかわる人のための心理学	沼山 博 三浦 主博 編著	萌文書林	376.1	とっくん (こどものとも0.1,2)	駒形 克己	福音館書店	726.5
齧齧の誘惑	蓮貴 重彦	講談社	377.04	とりかえっこ とりかえっこ	ふくだ じゅんこ	大日本図書	726.5
発達凸凹キッズがぐんと成長する園生活でのGood! なげろ	石川 道子 三輪 桃子	中央法規出版	378	どろんこおそうじ (はばばあちゃんの絵本)	さとう わきこ	福音館書店	726.5
世界で一番美しい切りの絵人体図鑑	Ilustrador Ariel	エクスマレッジ	491.1	どんぐり	たての ひろし	小峰書店	726.5
そだちの科学【特集】自閉スペクトラム症のこれから	滝川 一廣 杉山 登志郎 他編	日本評論社	493.937	ながいながい骨の旅	松田 素子 文 川上 和生 絵	講談社	726.5
そだちの科学【特集】発達障害が多すぎる-精神科の診断を再考する	滝川 一廣 杉山 登志郎 他編	日本評論社	493.937	ねこです。	北村 裕花	講談社	726.5
わかめちゃん絵本の世界	長谷川 町子	教育評論社	726.1	のでので	五味 太郎	絵本館	726.5
イソップえほん キツネとぶどう	蜂飼 耳	岩崎書店	726.5	のんびり りんこ	新沢 としひこ おさぎ えみ	ひかりのくに	726.5
いただきますあそび (あかちゃんのおそびえほん)	きむら ゆういち	偕成社	726.5	ばくっ! どうなる どうなる?	かしわら あきお	ひかりのくに	726.5
いのる	長倉 洋海	アリス館	726.5	ハリネズミのチクチク	ふくざわ ゆみこ	ひかりのくに	726.5
いろ・いろ・いろ	駒形 克己	偕成社	726.5	パンどろぼうvsにせパンどろぼう	柴田 ケイコ	KADOKAWA	726.5
うさぎたんでいミミ	取島 敏子 原作 いもとうこ 作・絵	ひかりのくに	726.5	ひとりであんちできるかな (あかちゃんのおそびえほん)	きむら ゆういち	偕成社	726.5
うずらちゃんのかくれんぼ	きもと ももこ	福音館書店	726.5	百年の家	J・P・トリック・ルイス	講談社	726.5
エリック・カールのイソップものがたり	エリック・カール	偕成社	726.5	ぶくちゃんのすてきなばんつ	ひろさわ さえこ	アリス館	726.5
エルマーとヘビ	デビッド・マッキー	BL出版	726.5	ペンギンのクライブ	ヒュー・ルイス・ジョーンズ	化学同人	726.5
エンバリーおじさんの絵かきえほん かおかけちやうよ	Id・I・P・A・R・I	偕成社	726.5	むぎちよこたんでいしや	青山 友美	ほるぷ出版	726.5
おーい、ゆだか (みちかな生きものと出会う絵本)	島津 和子	福音館書店	726.5	ももんちゃん あそぼう ももんちゃん ほっほー	とよた かずひこ	童心社	726.5
おきにいのりのしろいドレスをきてレストランにいきました	渡辺 朋作 高島 那生 絵	童心社	726.5	森へ (たくさんのふしぎ傑作集)	星野 道夫	福音館書店	726.5
おしごとそうだんセンター	ヨシタケ シンスケ	集英社	726.5	やきいも どーん	杉原 やす	ひかりのくに	726.5
おつかい	さとう わきこ	福音館書店	726.5	ゆうやけにとけていく	サ・ギ・ベ・カ・パ・ニ	小学館	726.5
お月さまにいろのはだあれ?	バーナード・ポルマー	文教大学出版事業部	726.5	ゆらゆらチンアナゴ (ほるぷ水族館えほん)	横塚 眞己人 写真 江口 絵理文	ほるぷ出版	726.5
おでんせんとう	さとう めぐみ	ひかりのくに	726.5	よるくまクリスマスのでまへのよる	酒井 駒子	白泉社	726.5
きみのいたばしょ	スティーヴン・写真 池田 伸 文	NORTH VILLAGE	726.5	よるのわがしやさん	穂高 順也 文 青山 友美 絵	文溪堂	726.5
くすのきだんちは10かいだて	武鹿 悦子 作 末崎 茂樹 絵	ひかりのくに	726.5	りりりりり	五味 太郎	偕成社	726.5
くもりのちはれせんたくあちゃん	さとう わきこ	福音館書店	726.5	レッド あかくてあおいクレヨンのはなし	マイケル・ホル作 上田 勢子 訳	子どもの未来社	726.5
このゆきだるま だーれ?	岸田 衿子	福音館書店	726.5	わたし	谷川 俊太郎 ぶん 長 新太 え	福音館書店	726.5
これがほんとの大きさ! 正	スティーブ・ジョーンズ	評論社	726.5	〇△□で作る紙工作 いきもの・くさばな・のりもの・たてもの	秋山 美歩	講談社	754.9
こんにちは あかぎつね!	エリック・カール	偕成社	726.5	健康・スポーツ科学入門 改訂版	出村 慎一 村瀬 智彦	大修館書店	780.19
3びきのヤギのブルーセプールでおおさわぎ	ビヨン・F・D・ガイク	三元社	726.5	類語国語辞典	大野 晋 浜西 正人	角川書店	813.5
14ひきのひっこし	いわむら かずお	童心社	726.5	アカンやんヤカンまん	村上 しいこ 文 山本 孝 絵	BL出版	913.6
10びきのおぼけ サーカスへいく	にしかわ おさむ	ひかりのくに	726.5	最高のアフタヌーンティーの作り方	古内 一絵	中央公論新社	913.6
死んだかいぞく	下田 昌克	ポプラ社	726.5	ふつうやない! はなげばあちゃん	山田 真奈未	福音館書店	913.6
スタシスさんのスポーツ仮面	スティーブ・レイター ガイク	岩崎書店	726.5	不思議の国のアリス	ルイス・キャロル 作 パット・イングバツ 絵	西村書店	933.6
せきとりしりとり	サトシン 作 高島 那生 絵	文溪堂	726.5	ふしぎの国のアリス	ルイス・キャロル 作 ジョージ・エドワーズ 絵	福音館書店	933.6
せん	スーザン・リー	岩波書店	726.5	やかまし村の子もたち	アストリッド・リンドグレン	岩波書店	949.83

読書感想文（I 回生対象）入選者と書名

最優秀作 幼児教育保育学科 西本 美濤 「へいわとせんそう」 たにかわ しゅんたろう プロンズ新社
 優秀作 幼児教育保育学科 前川 七海 「君たちはどう生きるか」 吉野 源三郎 岩波書店

※読書感想文の最優秀作品と優秀作品は4ページに全文掲載しています。

図書館からのお知らせ

図書館には法令や法律の本、色々な統計データを紹介した白書もあります。レポート作成時に活用してください。

書名	編著者名	発行所	分類番号
令和6年版 ことも白書	ことも家庭庁 編	日経印刷株式会社	367.6
社会福祉小六法 2024	ミネルヴァ書房編集部 編	ミネルヴァ書房	369.1
福祉・保育小六法 2024年版	保育福祉小六法編集委員会 編	みらい	369.12
高齢社会白書 令和6年版	内閣府 編	日経印刷株式会社	369.26

書名	編著者名	発行所	分類番号
国民衛生の動向・厚生指標 2024/2025	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会	498
厚生労働白書 令和6年版	厚生労働省 編	日経印刷株式会社	498.1
現代用語の基礎知識 2025		株式会社自由国民社	813.7

介護福祉士・国家試験対策の問題集や、公務員試験の対策、保育士・幼稚園教諭採用試験の問題集、色彩検定のテキスト等もあります。

書名	編著者名	発行所	分類番号
認定絵本士養成講座テキスト 第2版	絵本専門士委員会 独立行政法人国立青少年教育振興機構	中央法規出版	0195
ダントツ 一般常識+時事 一問一答問題集 2026年版	オフィス海	ナツメ社	307.8
神戸市・姫路市の短大卒程度/高卒程度 兵庫県公務員採用試験(教養試験) 25年度版	公務員試験研究会 編	協司出版	318.3
7日できる! 初級地方公務員過去問ベスト 26	公務員試験専門 喜治塾 編	高橋書店	318.3
わかる! 受かる! 介護福祉士国家試験合格テキスト 2025	中央法規介護福祉士受験対策研究会 編	中央法規出版	369.17
介護福祉士国家試験 受験ワークブック 2025 上・下	中央法規介護福祉士受験対策研究会 編	中央法規出版	369.17
介護福祉士国家試験 過去問題集 2025 第34回-第36回 全問完全解説	中央法規介護福祉士受験対策研究会 編	中央法規出版	369.17
介護福祉士国家試験 模擬問題集 2025	中央法規介護福祉士受験対策研究会 編	中央法規出版	369.17
書いて覚える! 介護福祉士国家試験合格ドリル 2025	中央法規介護福祉士受験対策研究会 編	中央法規出版	369.17
介護福祉士国家試験 2025 一問一答ポケットブック	中央法規介護福祉士受験対策研究会 編	中央法規出版	369.17
介護福祉士国家試験 よく出る問題 総まとめ 2025	中央法規介護福祉士受験対策研究会 編	中央法規出版	369.17
見て覚える! 介護福祉士 国語ナビ 2025	いとう総研資格取得支援センター 編	中央法規出版	369.17
スィスイわかる 保育士採用専門試験問題集 2025年度版	保育士採用試験情報研究会 編著	TAC株式会社出版事業部	376.14
スィスイわかる 保育士採用教養試験問題集 (2025年度版)	保育士採用試験情報研究会 編著	TAC株式会社出版事業部	376.14

書名	編著者名	発行所	分類番号
幼稚園 新ランナー 教員採用試験 2025年度版	東京教友会 編著	TAC株式会社出版事業部	376.14
保育士・幼稚園教諭採用試験対策&論文・面接対策 公立保育園&幼稚園をめざす! 2025年度版	保育士試験研究会 編	実務教育出版	376.14
神戸市の公立幼稚園教諭(過去問題集) 2025年度版	協司教育研究会 編	協司出版	376.14
西宮市・豊岡市・養父市の公立幼稚園教諭・保育士(認定こども園) 2025年度版	協司教育研究会 編	協司出版	376.14
姫路市・宝塚市・高砂市・南あわじ市の公立保育士(認定こども園) 2025年度版	協司教育研究会 編	協司出版	376.14
大阪市の公立幼稚園教諭(過去問題集) 2025年度版	協司教育研究会 編	協司出版	376.14
色彩検定過去問題集 3級 2023年度	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会	色彩検定協会	757.3
色彩検定過去問題集 2級 2023年度	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会	色彩検定協会	757.3
色彩検定過去問題集 1級 2023年度	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会	色彩検定協会	757.3
色彩検定過去問題集 UC級 2023年度	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会	色彩検定協会	757.3
文部科学省後援 色彩検定公式テキスト 3級編	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会	色彩検定協会	757.3
文部科学省後援 色彩検定公式テキスト 2級編	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会	色彩検定協会	757.3
文部科学省後援 色彩検定公式テキスト 1級編	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会	色彩検定協会	757.3
文部科学省後援 色彩検定公式テキスト UC級 2022年改訂版	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会	色彩検定協会	757.3

あとかき

ここまでお読みいただきまして、ありがとうございます。厳しい暑さの夏が過ぎたかと思えば、寒い冬かやってきました。それとともに、冬季感染症の流行が毎日のようにニュースで流れています。皆さん、体調に留意してご自愛ください。

さて、「コラム」でも述べましたが、どうぞ図書館をご利用ください。様々なジャンルの本があなたを待っています。また、パソコンを利用しての情報検索の場としてもご利用ください。ご来館をお待ちしています。 図書館長 堀田 浩之

編集発行 甲子園短期大学図書館

〒663-8107 西宮市瓦林町4-25

TEL 0798 (65) 3300

FAX 0798 (67) 9101

